

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
デザイン論1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	大山敏弘			実務 経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
授業概要											
人間工学や、社会におけるプロダクトデザインの役割について学ぶ。											
到達目標											
デザイナーと社会の関わり方を学び、自ら取材と考察、発表ができること、またグループワークを通して自分なりにデザインとコミュニケーションについての意見交換ができるようになることを目標としている。											
授業方法											
事例紹介を通してデザインとコミュニケーションのあり方を学び、レポートや発表で理解度を確認する。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。授業中での行動を通じて、「デザイン＝コミュニケーション」であることを踏まえ、デザイナーと社会の関わり方を理解し自分自身の言葉で語るができるようになることを目指す。											
成績評価方法											
作文・課題50%課題を総合的に評価する。ワークシート10%授業内容の理解度を確認するために実施する。レポート10%授業内容の理解度を確認するために実施する。成果発表20%授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。											
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。自ら関心をもって情報を取材し発表するだけでなく、他者の発表にしっかり耳を傾けること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。											
教科書教材											
プロダクトデザインの基礎他参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	講師の経歴＋作品紹介、学生自己紹介										
第2回	事例紹介①（デザインとは？）										
第3回	収集したデザイン制作物についてディスカッション①										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
デザイン科 プロダクトデザイン専攻	
デザイン論1	
第4回	収集したデザイン制作物についてディスカッション②
第5回	事例紹介②（デザイナーの仕事発表）
第6回	デザインと問題解決①
第7回	デザインと問題解決②
第8回	デザインと問題解決③
第9回	デザインと問題解決④
第10回	デザインと問題解決⑤
第11回	デザインと問題解決⑥
第12回	デザインと問題解決⑦
第13回	デザインと問題解決⑧
第14回	プレゼンテーション①
第15回	プレゼンテーション②